

プロフェッショナルによるセキュリティ診断サービス

脆弱性診断サービス

Powered by GMOイエラエ

脆弱性診断サービスとは

GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社のWebアプリケーション診断は、Webアプリケーションに潜在するSQLインジェクションやクロスサイトスクリプティングなどの脆弱性を見つけ出すセキュリティ診断サービスです。

近年多発するWebサイトへの不正アクセス被害や情報漏えいを未然に防ぐために、有効なセキュリティ対策として脆弱性診断の実施が必要とされています。

特徴

Webアプリケーション診断



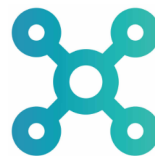
Webアプリケーションに潜在するSQLインジェクションやクロスサイトスクリプティングなどの脆弱性を診断します。

スマホアプリ診断



iOSやAndroidアプリなどのスマホアプリにセキュリティ上の問題点がないか診断します。

ネットワーク診断



実際のハッカーと同じ視点でブラックボックス方式のテストを実施し、ネットワーク上の問題点を診断します。

》詳しくは

ニフクラ 脆弱性診断



<https://pfs.nifcloud.com/service/vds.htm>

ご提供の流れ

ヒアリング



お見積り・ご契約



脆弱性調査



レポート提出



お問い合わせ窓口

0120-22-1200

※平日9:00~17:45 携帯電話・PHSからもご利用可能

<https://pfs.nifcloud.com/inquiry/>

裏面でお客様の声をご覧いただけます

技術力の高い外部審査機関による 『セキュリティ“お墨付き”』が営業の武器に



大興電子通信株式会社
名古屋支店システム部 システム三課
課長 成瀬哲也氏

1953年の設立から約70年、ICTに関するコンサルティングからシステム、ネットワークの設計・設定、セキュリティ対策の実装、それらすべての運用・保守までをワンストップで提供するシステムインテグレーターとして、2万社にもものぼる顧客企業とのパートナーシップを誇る大興電子通信株式会社。

これまで手がけてきた数多くのプロダクトのうち、スマートフォン/携帯電話向けクラウド型情報配信ソリューション「i-Compass」のセキュリティ診断に採用されたのが「脆弱性診断サービス Powered by GMOイエラエ」だった。

「i-Compass」ID数急増に対応するため、拡張性、保守性など優れたニフクラ基盤へ移管

大興電子通信株式会社の「i-Compass」は、1999年のリリース以来多くのユーザーに利用され、2020年9月には56万IDを突破するサービスへと成長している。

大興電子通信株式会社成瀬氏は、ニフクラ基盤に富士通マーケティングの独自サービスを付加したサービスである「AZCLOUD IaaS Type-N」（以下、ニフクラ基盤）を選択した理由を以下のように説明する。

「元々は物理サーバのホスティングサービスを利用した環境でのサービス提供でしたが、ニーズの増加に伴ってサーバの更新増強が間に合わないなという危機感がありました。サービスの性質上、拡張性、利便性、保守性などを考えるとクラウドでの提供が適していると判断し、今から2年ほど前にニフクラ基盤に移管し運用しています。UIがしっかりしているところに利便性を感じてニフクラ基盤を選びました。お陰さまで移管も思ったよりスムーズに進みましたね」（成瀬氏）

自社でもセキュリティソリューションを提供する大興電子通信株式会社がどのような意図で外部企業に診断を依頼することになったのか。成瀬氏はこう説明する。

「お客様の情報をお預かりしている立場上、セキュリティについては専用線を介したメンテナンスや、攻撃を防御するソフトウェアの導入など必要な施策を行ってきました。またセキュリティ診断については、社内で診断ツールを用いてきましたが、自己診断ですと、どうしてもお客様への説得力は低いですね。第三者の目から見た評価は大きな説得材料となります」（成瀬氏）

セキュリティのプロによる第三者評価、 依頼基準は「高い技術力」

セキュリティ診断をGMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（以下、イエラエ）に依頼した決め手は何だったのだろうか。

「最終的にお願いすることにした理由は、何よりも技術力が高そうだと感じたことです。多くの診断会社さんはツールとのハイブリッド型が多いと思うのですが、『手動診断します』とお伺いして、技術力への自信を感じましたね。弊社はセキュリティソリューションを自社で提供しておりますので、技術力がより高いところに評価していただいて初めて“お墨付き”になりますから、そこは重要だった点のひとつです」と成瀬氏は説明する。

診断を実際に受けた感想について、成瀬氏はこう語る。

「診断結果は、認識済み且つ緊急性の無い点のご指摘のみでした。新たな穴が無くて安心しましたね」

セキュリティは"イタチごっこ"、社内リソース だけでは難しい全体診断も定期的に

「今回やっていただいた『3日かけて全体を見る』ということは、自社のスタッフリソースではなかなかできませんので、外部の会社さんにやっていただけて助かったところですよ」と成瀬氏は振り返る。

「セキュリティというのはどうしても『イタチごっこ』なので、やり続けるしか無い、という側面があると思います。サービスリリース時の診断は何日も取ってしっかりとチェックしますが、継続的なサービスの中で一部分の機能リリース時などは、部分的なチェックに留まってしまったりするのが常かと思います」
このようにセキュリティ対策の難しさを話す成瀬氏は、「イエラエさんをお願いした全体を見る診断も、本来であれば定期的にやるべきものであるという認識はあるので、今回の診断をきっかけに、今後の予算化も含めて考えていかなければならないなと考えているところですよ」と、今後にも期待を寄せている。

※ 製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

※ 当社は、2017年4月1日にニフティ株式会社から富士通クラウドテクノロジーズ株式会社に社名を変更いたしました。

また、2017年11月1日にニフティクラウドからニフクラにブランド名称を変更いたしました。

※ 本インタビュー内容は2020年9月30日時点の情報です。